

今後のワークショップの進め方

〔第1回全体会議〕

○分野別専門委員会第1回のワークショップでは、ふせんを利用してカテゴリーごとに東御市の「良いところ」「良くないところ」をあげてもらい、分類をして頂きました。（作業途中の部門別専門委員会もあり）それを元に別添の表ができあがりました。

〔分野別専門委員会 第1回～第2回〕

○別添の表、カテゴリーごとに分類した「良いところ」「悪いところ」について整理をお願いします。整理にあたっては、①カテゴリー分けはこれでよいか、②似た内容はできる限り集約する、③新たな内容を付け加える、④各カテゴリーの中で優先すべきことは何か、などをお考えください。似た内容の一本化にあたっては、再度KJ法による図をつくることをお勧めします。（図1）

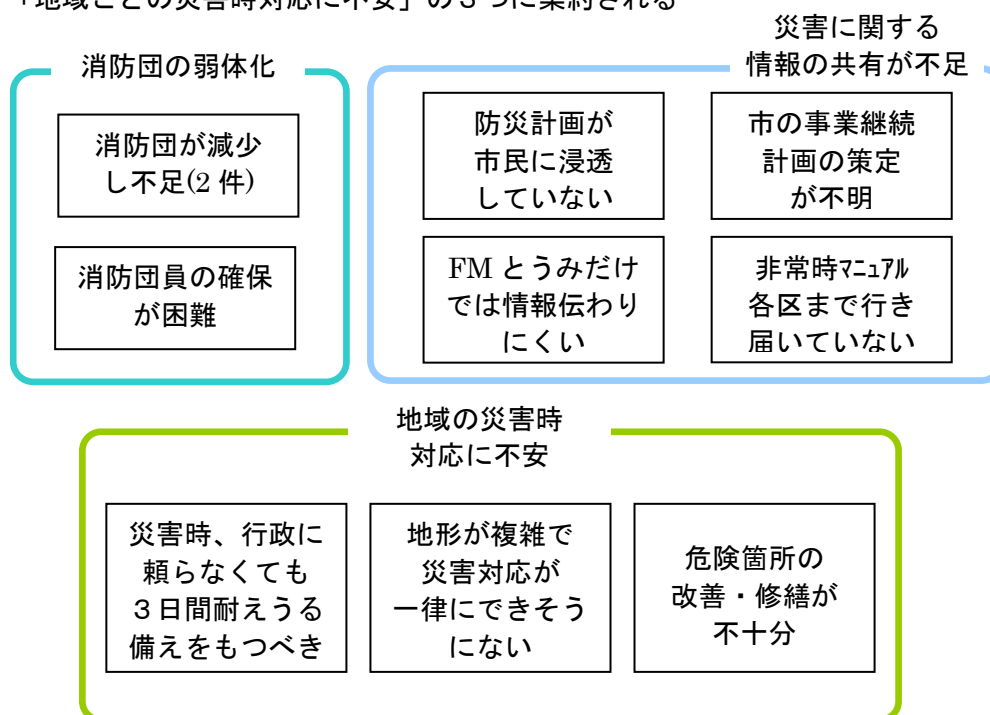
○カテゴリーごとの「良いところ」「悪いところ」の整理が終わりましたら、「良いところ」についてはそれを「伸ばす（残す）ためには何をすればよいのか」、一方、「悪いところ」については、どのように「改善すればよいのか」を各カテゴリーの集約した項目ごとに話し合ってください。

○「伸ばす（残す）ためには何をすればよいのか」「どう改善すればよいのか」を話し合う中で、すでに行政が行っている「施策・事業」も出てくるかと思いますが、その際には、職員の方からメンバーに説明してください。

検討に際しては、第1回と同じくふせんを利用して、ふせんを貼りながらその内容についてメンバーに説明をお願いします。（図2）

（図1）『防災』の「悪いところ」の整理（例）

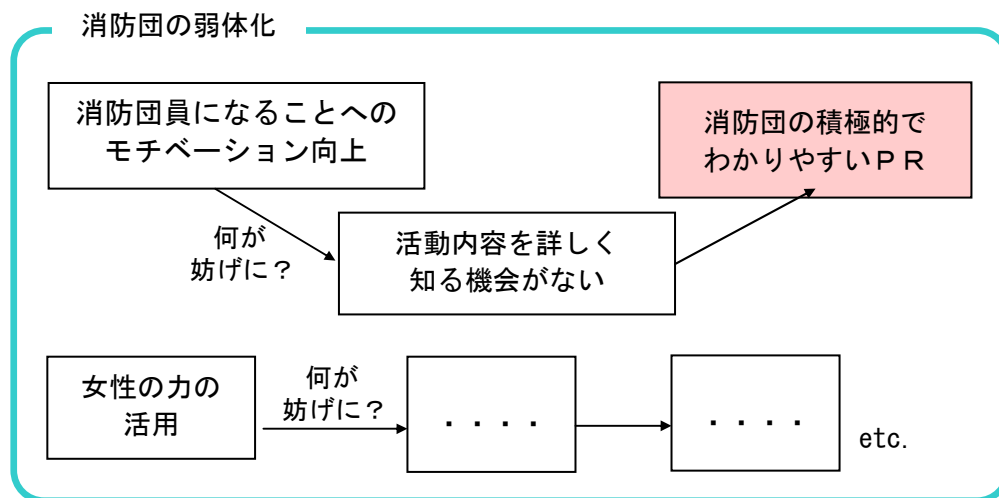
「消防団の弱体化」「防災に関する情報の共有が不足」
「地域ごとの災害時対応に不安」の3つに集約される



(図2)『防災』の「悪いところ」に対する改善策(例)

整理された項目ごとにその改善策を探っていく

最初から答えを出そうとするのではなく、出された意見から導かれることも。



〔分野別専門委員会 第3回～第4回〕

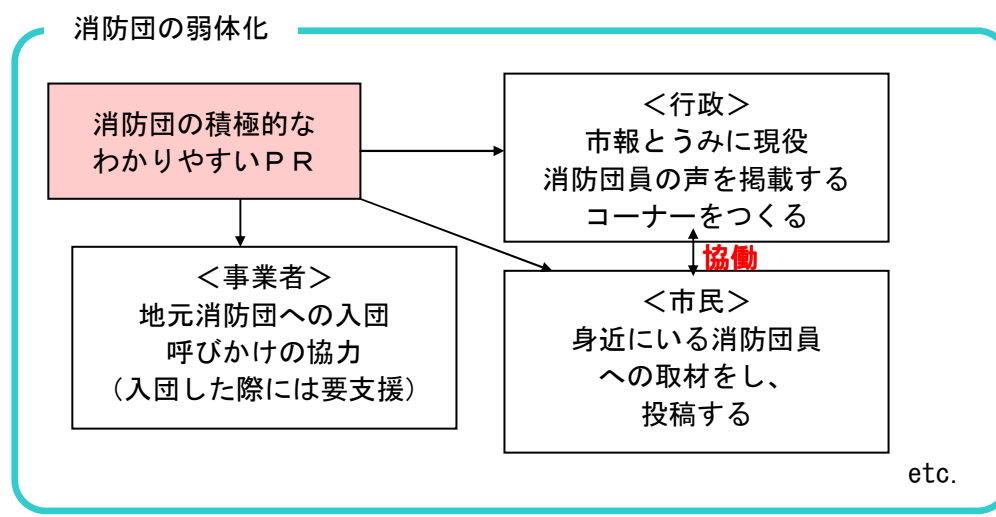
○前回までのワークショップでは「良いところ」を「伸ばす(残す)ために何をすればよいか」「悪いところ」は、「どう改善すればよいか」を明らかにしてきました。

○第3回もしくは第4回以降のワークショップでは、そうしたことについて「誰が」、また具体的には「何を」行うか。つまり、市民、事業者、行政といった活動主体が、それぞれ何をすればよいか(概ね5年間を見込み)を話し合ってください。これについてもふせんを利用して、ふせんを貼りながらその内容についてメンバーに説明をお願いします。(図3)

また、協働で行うことが望ましい事業も考えられますので、その旨を分かるように記載するとわかりやすくなります。

(図3)『防災』の「悪いところ」に対する改善策の主体と具体的な取り組み内容(例)

改善策それぞれで主体(市民、事業者、行政あるいは協働)ごとに、具体的な取り組み内容を考えていく。



○これまでのワークショップで、市の「良いところ」「悪いところ」、それらを「伸ばすため」「改善するため」の方策、さらにそれを「誰が」、具体的に「何をやるか」が明らかになりました。こうして出された意見を、提言書としてまとめていきます。(図4)

提言書のまとめ方（例）(図4)

カテゴリ	項目	改善策	誰が	実施したい事業（平成 26～30 年度）
防災	消防団の弱体化	消防団の積極的でわかりやすいPR	市民	●身近にいる消防団員への取材をし、投稿する ...
			事業者	・地元消防団への入団の呼びかけ協力（入団した際には要支援） ...
			行政	●市報とうみに現役消防団員の声を掲載するコーナーをつくる ...
			協働	...
		女性の力の活用	市民	...
			事業者	...
			行政	...
			協働	...
	災害に関する情報の共有が不足	...	...	...

●は協働で行うもの

〔 第 2 回 全体会議 〕

○全体会議を開き、分野別専門委員会ではまとめられた内容について発表してもらいます。